

# らぶれたー

世界における軍事侵攻のニュースや、昨年来続く原油高や諸物価の高騰、国内では年初来の度重なる地震に加え、近い将来の収束が見えてきたとは言え、相変わらずのコロナ禍。でも、個人に置きかえれば生きている限り朝の来ない夜はありません。小さな幸せを見つける感受性を持って、マスクを付けていても笑顔の多い日を日々送っていききたいものですね。

## “表現の自由”について思うこと

オリンピック出場のアスリートたちなど、有名人へのSNSでの誹謗中傷が話題になるケースが急増しています。一方でく人種差別を煽るようなヘイトスピーチなどが問題視される時もそうですが、必ず【表現の自由】は憲法で保障されているなどと主張する文化人コメンテーター、法律家、教授などが登場します。しかし、人を傷つける言葉をしかも匿名で投げつけるようなネット上での誹謗やヘイトスピーチ的な発信の仕方を【表現の自由】と言うのは、僕はまったくおかしいと思います。

〇〇ハラスメント、という行為についてもそうです。受け手側がどう思うかで決まるわけですね。信頼感や共感性で結ばれている中での発言や行為はOK（周囲がとやかく言おうが当事者同士で問題になること



はない)、明らかに権力地位の濫用だとか立場の強い方の一方的な要求であれば、NGなわけですが、SNSの場合はほとんどの場合は匿名です。受け手側、被害を受ける側が傷つくこと自体をしてはならない、というのは憲法以前に（人間が1人では生きていけない生物である以上）対人関係の基本的な倫理観というものではないでしょうか。

世の中ではこの二十数年、通信やコミュニケーション手段において、インターネット抜きに生活することが難しい時代になりました。でも一方で、ツールの進化に哲学、教育、倫理、道徳、そしてとくに法律が追い付いていないのが現状です。《ネットリテラシー》→《コトバンクによると、情報の取捨選択や適切な対応ができること、などを含むネット社会を生きる上での知識・能力全般のこと》とあります。

僕らの世代は小学校に、子供の二宮金次郎（尊徳）が薪を背負って本を読みながら歩いている像が正面玄関の近くにあり、道徳教育というものがしっかりとありました。



＜三つ子の魂百まで＞とよく言います。育った環境も世代も違う人たちがコミュニケーションを取るツールとして、LINEやインスタグラムなどSNSやネットを利用する時代だからこそ、情報処理ツールのテクニックや知識ではなく原点に立ち返り、日本は倫理や道徳をもっと低年齢時から教育することにもっと国として国家予算を配分して、教育できる人を育てることも含め力を入れるべきではないかと、年齢を重ねるとともに思うようになりました。（昨年、渋沢栄一の本を読んで感銘を受け、大河ドラマを観たりして何かと影響を受けています…）

家庭での躾が重要なことはもちろんですが、これとて躾ける親が道徳倫理教育を受けていないとハラスメントと同じようなことが起きますよね。

グローバル時代を生き抜くためにも、日本の四季、そこで育まれた日本人の感性、日本人の繊細さ、やさしさ、しなやかさなど、海外の方からより高評価を受けているような日本の国民性の長所を教え、育てる。それがグローバル時代を生き抜く真の教育ではないかと。正面突破的な腕力や強さ、攻撃性を前面に出す、それは契約社会・裁判社会の欧米には馴染んでも、日本では決して馴染まないのではないと思うわけです。日本には謝る方が負けではなく「負けるが勝ち」などという言葉もあります。

一人の人間として、《ポチッ》と送信ボタンを押す前に一晩寝かせて、朝一番お日様を浴びながら再考して発信・行動した方が良いと思います。夜中に書いたラブレター（「らぶれたー」ではありません）を、朝読み返してみたら恥ずかしくて読めるものではなかった！なんてこともありますしね。

生きづらい世を生き易くするための処世術は案外そんなところにあるのではないのでしょうか？

代表取締役 樋口繁樹



2022年  
5月号  
vol.84

発行：株式会社ラプロス  
発行人：代表取締役 樋口繁樹  
〒810-0001  
福岡市中央区天神1丁目12番1号  
日之出福岡ビル5階  
TEL092-737-2211  
FAX092-737-2212  
弊社のHPは下記URLよりご覧いただけます。  
<http://www.lapros.co.jp/>  
編集担当：渡辺、中村、藤吉

引き続き、手洗いがい・手指消毒を徹底しましょう！



## あいかわらず… 積み(罪)プラ

文：田中

2022年も早いもので4月、新年度がスタートしました。当社も新入社員が入社し、新鮮な空気を感じられ、タナカも禪を締め直して（表現が古！）業務に邁進したい今日この頃です。

積みプラも一度整理しろ、という我が家の女王様奥様からの御下命。こういう時は素直に従うのが吉。ということで、積みプラと作りかけ放置中のプラモデルを見直します。因みに、積みプラとは棚に積んだままになっているプラモデル（通称：積みプラ、罪プラとも言う）の事です。

まず、ここ数年でどのくらい積み(罪)重なっているのかを確認。積んでいる高さを測るとなんと128cmの高さがありました。それが2列もあるわけです。大きさの目安としてはフルサイズのゴルフバッグが2つど〜んとある感じです。ひと箱の高さが6cm程度なので128÷6≒21個、2列なので42個の箱が積んであることに！

よくまあ、こんなに積むもんだと…。そのうち作りかけ絶賛放置中の箱が7個ありました。ディテールアップ中のものや仮組で止まっているもの、色をどうしようか塗装前まで来て悩んで止まっている

ものなどなど。ここまでやっておきながら、我ながらトホホです。

タナカの家は5人家族です。そこに積みプラが大量に積んであります。これ以上積むとプラモデルが売り飛ばされ、捨てられてしまう恐れが。それはどうやらリーチがかかっている模様。回避すべく製作スピードUP、購入ペースDOWNを決意しました。巣ごもり需要でプラモデルが品薄の今、作れるモノがあることに感謝して進めようと思う次第です。

それで、最近のタナカはどんなものを作っているかと言いますと、ヴィネット（小型のジオラマ）にはまっておりまして、先日ひとつ目が完成しました。

模型以外はすべて100円ショップで材料を揃えました。小さな空間（写真はカップコースター）に場面を切り取り世界観を表現するのは楽しいです。



ヴィネット  
完成画像

2作目は、ダイハツの三輪自動車ミゼットでヴィネットを製作中です。

巣ごもり長期休暇のお楽しみに皆さんもいかがですか？

## NEW! NEW FACE

住宅事業部 長友 翔太郎



4月1日付で新卒入社致しました、東北大学卒の長友翔太郎と申します。

大学では地学を専攻し、火山の研究をしておりました。とはいっても、大学時代はマグマにも負けられないほどの熱量をソフトテニス部での活動に注いでおり、図書館の椅子に座っている時間よりも、テニスコートで陽に焼ける時間の方が圧倒的に長い、というような学生でした。

私がこれほどソフトテニスに熱中できたのは、自分の感情を声に乗せる感覚が大好きだったからだと思います。

これからの舞台はテニスコートから仕事場になりますが、自分の真意を言葉にする大切さを忘れず、お客様の笑顔を活力に変えることができるような営業マンになりたいと思います。これから宜しくお願い致します。

# 免許皆伝 MENKYOKAIDEN

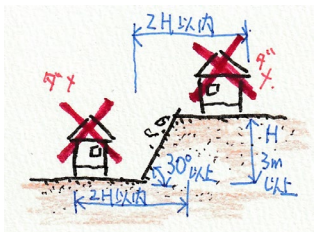
その63

## 『ようへき』の巻

私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、今回で63号となりました。家を建てるために必要なものといえば、資金、家族の想い、おとうさん（またはおかあさん）の決断、実家の理解などいろいろありますが、必ず必要なものは土地（宅地）です。

いざ土地を買うときには、立地、交通、環境、店舗や学校などの利便性などチェックしないとイケないことはいろいろありますが、アラキが気になるのは土地の形状です。平面的な形状もそうですが、周囲との高低差は注意が必要です。

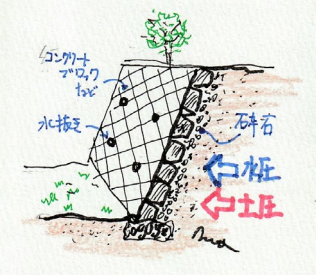
土地が平らであれば良いのですが、土地によってはどうしても周りの土地と高低差が生じることがあります。高低差があると万一の地震のときに崩れたりして危険ですので、福岡市では水平角度30度を超える傾斜で高さ3メートルを超えるものを「がけ」と扱い、「がけ条例」によって規制があります。がけの上はがけの最下端から、がけの下にはがけの最上端から、それぞれがけの高さの2倍以内の距離の範囲には居室のある家屋を建てるのが禁じられています。



これをクリアするためには、家屋の基礎を安全な形状とするか、または「擁壁（ようへき）」という壁で高低差を固めなければなりません。

住宅の宅地でよく見かける擁壁は、構造上の分類でいうと「練積み擁壁」と「L型擁壁」があります。あまり聞いたことないですか？

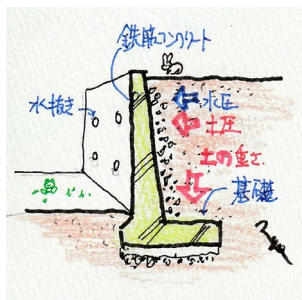
「練積み擁壁」は、間知石擁壁や間知ブロック擁壁などお城の石積みのように、石やコンクリートのブロックを積み重ねたものです。表面には石やコンクリートしか見えませんが、裏側つまり土に埋まっている側には水はけのために砕石を入れ、地下水が溜まって水圧で擁壁が壊れることがないように水抜きパイプから水を抜きます。地下水の水圧はばかにできません。擁壁から水が染み出しているのは壊れているわけではあり



りません。擁壁が斜めになっているので、宅地の面積の一部が擁壁で食われるのはもったいないですね。

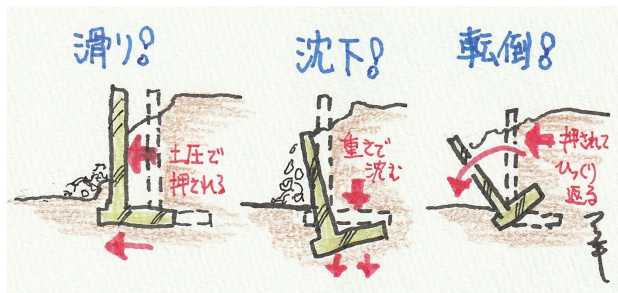
「L型擁壁」は、その名前のおりL型の擁壁で土を支えます。垂直な壁の部分と水平な基礎の部分とが強固に一体となった構造ですので、全体が一体の鉄筋コンクリート造となります。

擁壁の高さが低い場合は、基礎を鉄筋コンクリート造、壁をコンクリートブロック造とすることもありますが、土が平らに拡がろうとする土圧と地下水の水圧によって、擁壁には水平方向



に力がかかります。この土圧と水圧に耐えるよう、L型擁壁は基礎となる部分の上に土が載ってその重さでふんばっています。

L型擁壁で気をつけないといけないのは、沈下、転倒、滑りです。基礎の下の部分の地盤が弱いと沈下してしまいますので、必要であれば地盤改良工事を行います。転倒しないよう、そして滑らないよう基礎の大きさを決めます。L型擁壁は地盤が高い側の土地を支えているので、一般的に高い方の土地の所有者のものとなります。お気づきかと思いますが、L型擁壁をつくるためには、いったん土を掘り上げてどかさなければなりません。そのため工事は大掛かりになり、コストもかかります。擁壁は、周囲と高低差のある土地を宅地とするために必要なものです。擁壁自体が危ないものではありません。きちんと施工された擁壁であることが大事なのです。



私たちラプロスでは、ただいま全力で宅地となる土地を探しているところです！空き地だけでなく、空き家、空室が目立ってきたアパートなどでもけっこうです！売ろうかどうしようかとお悩み中でしたら、税金面などのご相談にも対応します！ご連絡をお待ちしています！アラキの成績にしますのでアラキまで！できれば平らな土地がいいです！

樋口 恵子の

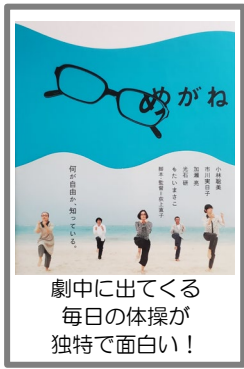
## おすすめの ○○ ～私の推し映画～

今号よりスタートいたします「おすすめの○○」コーナー。

悩んだ挙句『私の推し映画』についてご紹介させていただきます。

萩上直子（おぎがみなおこ）監督の『めがね』と『かもめ食堂』。いずれの作品も代表キャストが小林聡美さん・もたいまさこさん。お二人の個性的な演技と雰囲気素晴らしい！

『めがね』は一人のキャリアウーマン タエコ（小林聡美）が、疲れ切った心と体を都会の喧騒から解放された思いで訪れた南



の島（舞台は与論島だそうです）のあるホテル？というか民宿？というか・・・で起きる自分とは全く真逆な日常や出会う人々とのお話です。

私は同じ映画やドラマを繰り返し観ても飽きません。前回気がつかなかった小さな所作や背景を発見し、違う解釈が生まれたりなので。主人からは『飽きもせずよく観るよね～(笑)』と、呆れられています・・・

この映画を観るベストシチュエーションとしては、雨がしとしと降る日暮れ時に携帯も止めて一人で静かにソファやベッドに転がって全身の力を抜きまくって観るのが私のベスト。

実際に旅行先の南の島で雨に降られ、外出できずにこの映画を観た時の心地よさは忘れられない『最高の疲労回復薬』となり、それ以来安定剤的存在といっても過言ではありません。



『かもめ食堂』はフィンランドのヘルシンキが舞台となり、日本人女性サチエ（小林聡美）がこの地で日本食のお店を開き、不思議な出会いによ

って店を手伝い始める2人の日本人女性、マサコとミドリ（もたいまさこ・片桐はいり）との『かもめ食堂』を介して繰り広げられる様々な人間模様と、北欧ならではの美しい景色がとても心地よく、心が穏やかになる映画です。（不思議感もありますが、それがまたいい！）

北欧の街中で丁寧に握られるおにぎりや焼き鮭は、日本食のシンプルでありながらも塩梅という加減を最大限に映像の中で表現されていて、『おにぎり食べたい！』と思うこと間違いなし。

私はこの映画の影響を受け、6年前にフィンランドへ行き『かもめ食堂』とお店の名物『シナモンロール』のランチを食べにいきました。感激のあまり味は思い出せませんが・・・

私にとっていずれの映画も温かい人間模様が観ることができ、時折心の余裕のない自分に照らし合わせ『いかん。いかん・・・』と、心身のリセットをしております・・・

啓発書籍などもいいのですが、私にとってはこの2つの映画は最高の特効薬といったところでしょうか。

よろしければ、鑑賞されてみてください。



○○についてもっと知りたい！

## 「らぶれたー」について ご意見・ご感想をお聞かせください！

ラプロスの広報誌「らぶれたー」は、2008年12月に創刊し、今号で84号となります。ここまで発行を続けることができたのも、温かく見守っていただき、時にご意見やご感想をいただく皆さまのおかげです。今後もより一層の向上を目指しています。皆さまのご意見・ご感想を是非お聞かせください！お電話・FAX・メールにて受付中です。

TEL.092-737-2211  
FAX.092-737-2212  
mail: info@lapros.co.jp  
「らぶれたー係」まで

ご意見・ご感想をお寄せいただいた方には福岡市動植物園の入園料無料ペアチケットを先着で20組様にプレゼント！（中学生以下・福岡市居住の65歳以上の方の入園料はもともと無料です）

文字をもっと大きくしてほしい。

アラキさんの『免許皆伝』いつも楽しみに読んでいます。



ラプロスは福岡市が取り組んでいる一人一花運動に協賛しています。

## お友達ご紹介 キャンペーン

商品券  
**50,000円分**  
ご紹介者さまにプレゼント！※

※ご紹介者さまからの紹介でご成約となった場合

プロスペリテ  
公式ホームページ



プロスペリテ  
インスタグラム



## 編・集・後・記 藤吉

今年も桜が咲き、自然の強さを教えてくれるとともに、コロナ禍で過ごす私達にひとときの癒しを与えてくれました。弊社では新入社員を迎えました。皆様のまわりにも約2年間、勉強や各活動において制約が多かった学生生活を終え、社会人になられた方も多いと思います。「なかった」「できなかった」だけではなく、コロナ禍での経験がこの先で意味があったと思える日が来ることを願い、エールをおくります。